

平成 22 年度 事務事業事後評価調書 (平成 21 年度事業)

整理番号 3 - 10

1 事務事業の表示

: 該当

事務事業名		役場庁舎維持管理事業(庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託)					
評価者	担当課名	税財管理課		担当係名		管財係	
	管理職	職名	課長		作成者	職名	
		氏名	久保田和孝			氏名	
事業の概要	庁舎ガラス及び床面(タイル等)の汚れや破損があることから、施設の現状維持管理を図るため清掃委託を行う。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 1,834 千円 事業費計 1,834 千円		
実施方法	直営		民間委託		その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)			登載事業		非登載事業		優先度 B
事業の位置付け	政策目標	5 ささえあい・雄武 ~ 協働によるまちづくりの推進					
	基本施策	24 効果的・効率的な行政経営					
	単位施策	3 地方分権型行政の推進					
	事務事業の種類	自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(見込)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額(一般財源)	366 千円	357 千円	367 千円	367 千円	367 千円	
	合計	366 千円	357 千円	367 千円	367 千円	367 千円	

743

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	役場庁舎	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	庁舎の維持管理	庁舎の維持管理			
		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	清掃により美観及び耐久性を保つ	ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託	目標年度	平成21年度	
			目標値	1 式	
			実績値	1 式	
			達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 成果 = 目的	庁舎の現状を維持する		目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
庁舎ガラス清掃・床ワックス掛け業務委託	庁舎清掃に精通している業者に庁舎窓ガラス・床タイル・カーペットの清掃業務を委託				

3 事務事業の評価(Check)

(1) 事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか、当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要 / 概ね必要 / 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	不特定多数の来庁者があることから老朽化を少しでも遅らせ施設の現状を維持していく為、清掃を行い耐久性及び美観を保つ必要がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2) 事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効 / 概ね有効 / 課題あり	設定した目標値の達成状況	日常の清掃では困難な箇所についても清掃を行うことで美観及び耐久性を保ち維持管理することができた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3) 事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的 / 概ね効率的 / 課題あり	判断の理由	高所作業を伴う清掃でもあることからコストを下げることは困難であるが、ワックス掛け等により日常清掃委託の面では作業軽減が図られている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4) 事務事業の公平性

公平 公平 / 概ね公平 / 公平でない	判断の理由	庁舎床面タイル等の維持を図ることにより、来庁利用者に不快感を与えない為、公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価(A~D)

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
施設的美観や耐久性を保ち現状維持管理する為には、今後も計画通り事業を進めることが適当である。		

今後の展開方向
(Action)

継続 / 現状維持		
庁舎の現状維持を保つためには、今後も継続が必要である。		

* 展開方向の区分

継続 / 現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--